

県政報告2026 No.11

2026年2月議会において、令和8年度の県税収入と今年度の県税収入について、私が委員長を務める総務企画地域振興常任委員会に関連する自民党代表質問として服部知事に質しました。

服部知事からは、来年度の県税収入は、今年度の県税収入の状況をもとに、県内における経済指標や地方財政計画等を勘案して見込んでいる。前年度当初予算と比較すると、軽油引取税のいわゆる暫定税率の廃止により179億円、自動車税環境性能割の廃止により73億円の税収が減少するものの、県税全体で4.0%、319億円増と、過去最大となる8,308億円余を見込んでいる。主な税目では、個人県民税について、給与所得の増加により、81億円の増、地方消費税について、県内消費の増加により、344億円の増を見込んでいる。また、法人二税については106億円の増を見込んでいる。各税目の算定にあたっては、県内の主要企業に対する聞き取り調査等を踏まえ、県の実情に即して適切に見込んでおり、当初予算に係る税収は確保できるものとするが、今後の物価動向や米国の通商政策をめぐる動向などの影響に十分注意する必要があると考える。また、今年度の県税収入については、当初予算額7,989億円から262億円上回る見込みである。主な税目では、個人県民税については、給与所得の増加及び株式取引の増加により、当初予算額から44億円上回る見込みである。地方消費税については、県内消費の増加により、147億円上回る見込みである。また、法人二税については、ITセキュリティ事業などのサービス業や、クレジットカード事業などの金融業において、企業業績の堅調な推移が見込まれることから、40億円上回る見込みであるとの答弁を得ました。

古賀市においては、久保区大根川観音堰から蔵園堰の浚渫、筵内区熊鶴橋上流の浚渫、庄区渋田石油下流大根川の浚渫、今在家区いすゞ自動車付近谷山川の浚渫、町川原区やすらぎ会館裏谷山川の浚渫及び川原天満宮付近の浚渫、新谷山橋付近の浚渫、薬王寺区薬王寺川井手口堰から新原堰までの浚渫、合計で約3,000mほどの河川浚渫を実施しました。

今後も感謝を忘れず、関係機関と連携し、切れ目なく県そして地元の課題に全力で取り組んで参りますので、ご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。



渋田石油下流浚渫



やすらぎ会館裏浚渫



観音堰から蔵園堰の浚渫



薬王寺川浚渫



川原天満宮付近浚渫



新谷山橋付近浚渫



いすゞ自動車付近浚渫



熊鶴橋上流浚渫